

美星スペースガードセンターで取得したデータを利用した研究を実施しませんか



応募方法

- ・JAXA軌道チームへ研究企画書をメール連絡(連絡先 JAXA軌道、SGC_DATA_KOUBO@ml.jaxa.jp)
指定の様式はありません。A4用紙2枚程度に背景、目的、想定する期間(観測時間)、研究参加者と役割、美星スペースガードセンターデータを使う事で期待される成果、を記述ください。
その後、Web打合せを実施し、詳細を議論します。

テーマ: 理工学分野へ資する範囲内で自由です。JAXAは新しい発想を期待しています。

応募締切: 2022年4月28日(木)

(但し、応募者多数の場合は上記の締切を待たずに募集を終了します)

美星スペースガードセンター(BSGC)の特徴: 詳細は打合せで説明

- ・BSGCの1m望遠鏡、50cm望遠鏡の概略は3ページ目
- ・多色測光、光度変動観測可能です。
- ・提供するデータ形式は写真(FITS形式)または研究対象物体の座標値(RA,DEC)を想定します。

特記事項

- ・BSGCで取得したデータをFTPサーバ経由またはメール添付で提供するものです。
応募を採用された方がBSGCで直接観測するものではありません。
- ・BSGCデータは無償で提供します。
- ・観測のための準備でBSGCで作業を行う場合、BSGCに特殊治具、センサーを設置する事は電源容量等の物理的条件が可能な範囲で許容しますが、費用(BSGCまでの出張費含む)は応募者側が負担ください。
- ・コミュニケーションは原則として日本語とします。

美星スペースガードセンターで取得したデータを利用した研究を実施しませんか



JAXAの関与

- ・研究進捗の要所要所でJAXAと議論することを希望します。そのうえで、以下の(i)(ii)を想定します。
 - (i) JAXAがBSGCデータを提供するだけ → 本公募の仕組みで対応します
 - (ii) JAXAによる軌道決定や各種評価、相互検証を要する → 本公募をきっかけとした共同研究で対応します
(提案者-JAXA直接型、提案者-BSGC型があり。提案者が研究推進しやすい方を選択可能です)
- ・JAXA職員に、学生へのアドバイザーを期待 → 頻度や関与の深さにより別途調整。

各種条件

- ・提供データは、論文または公益に活用することとします。成果は公開することを原則とします。
- ・論文作成時、成果発表時は、JAXAの貢献度により謝辞、または共著をお願いします。
- ・常識的な守秘義務を要求します。例：研究を通して知りえた事は、SNS等で勝手に公表しない。
- ・その他の細かい細則は、打ち合わせにて。(例 著作物発生時、トラブル発生時、延長/終了、外国人がグループにいる場合のBSGCデータ提供の考え方など)

備考

- ・研究者ならばどなたでも応募できますが、指導教官のもとで学生が解析するスタイルを優先度上位とします。
- ・BSGCデータにより金銭的利益を得る事がないように配慮ください。また2次配布もご遠慮ください。
- ・応募テーマは、JAXA内で審議し、応募件数や内容によっては不採用または制約をつける可能性があります。
- ・同じ内容のアイデアが複数寄せられた時は原則として応募時期の早い方を採用します。
- ・JAXAやBSGCで対処できる作業量を定常的に超える場合はお断りする/制約をつける可能性があります。
- ・本事業で研究提案を採用された学生がいる場合、卒業までは継続して支援します。
- ・JAXAの都合、世界が注目する宇宙イベントと重なる時は、そちらを優先観測します。

BSGCの仕様



| 主鏡口径 | 1m |
|--------|---------------------------------------|
| 限界等級 | 18.5 (19:好条件下) 静止軌道で1mの物体を識別した実績あり |
| 最大追尾速度 | 赤経・赤緯2.5度/秒以上 |
| 架台方式 | 経緯台式赤道儀 |
| CCDカメラ | 視野角2.4度×1.2度 2K×4K pixel CCD 4個 |

| 主鏡口径 | 50cm |
|--------|---------------------------------------|
| 限界等級 | 16.5 (17:好条件下) 理論上、静止軌道で2mの物体を識別可能 |
| 最大追尾速度 | 赤経・赤緯5度/秒以上 |
| 架台方式 | フォーカ式赤道儀 |
| CCDカメラ | 視野角1.7度×1.7度 2K×2K pixel CCD 1個 |

美星スペースガードセンター



より細かい仕様は
打ち合わせ時に開示
します。

